

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場会社名 日本証券金融株式会社
 コード番号 8511 URL <http://www.jsf.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

(氏名) 増淵 稔
 (氏名) 前田 和宏
 配当支払開始予定日

TEL 03-3666-3184
 平成20年12月5日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	23,282	—	△1,751	—	△1,453	—	△2,391	—
20年3月期第2四半期	26,597	30.7	5,365	4.0	6,306	22.8	4,083	43.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△25.38	—
20年3月期第2四半期	41.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
21年3月期第2四半期	4,897,246	—	111,375	—	2.6	1,203.03		
20年3月期	5,093,837	—	111,303	—	2.5	1,125.72		

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 111,375百万円 20年3月期 111,303百万円

(注) 自己資本比率=自己資本/負債(※)・純資産合計×100(※預り担保有価証券、借入有価証券等を除く)

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前年増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	42,000	△17.0	△5,100	—	△4,500	—	△5,800	—	△62.09	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 93,700,000株 20年3月期 99,704,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,121,305株 20年3月期 831,013株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 94,229,884株 20年3月期第2四半期 98,724,683株

※業務予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予想が含まれており、株式市況・金利の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

なお、平成20年7月31日に公表いたしました通期の業績予想数値(連結・個別)を変更しております。業績予想に関する事項は、添付資料の5ページをご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)

(百万円未満切捨て)

平成21年3月期の個別業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△15.4	2,300	△69.8	3,400	△57.9	2,300	△53.4	24.50

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

[業績予想の前提条件]

貸借取引平均残高：貸付金 3,700 億円、貸付有価証券 3,600 億円

貸借取引金利等：融資金利 年 1.11%、貸株等代り金金利 年 0%、貸株料 年 0.4%

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至同年9月30日）における株式市場についてみますと、期初1,230ポイントで始まった東証株価指数（TOPIX）は、金融不安の後退や円高の一服などを好感して、6月上旬には1,430ポイントまで上昇しました。その後は世界経済の先行き不透明感を背景に軟調に推移し、9月には米国金融機関の経営危機等を契機とした世界的な金融不安の高まりから下げ足を速め、9月末は当第2四半期最低の1,087ポイントで取引を終えました。

この間、東京市場における制度信用取引買い残高は、期初の1兆6千億円台から5月初めには4年9カ月ぶりに1兆3千億円台まで減少したもののその後は持ち直し、6月末には1兆7千億円台となりました。7月以降は株式市場の低迷に伴って減少傾向を辿り、9月末は1兆4千億円台となりました。一方、同売り残高は期初の6千億円台から5月には8千億円台まで増加しましたが、その後は減少に転じ、9月末は5千億円台となりました。

このような環境下であって、当第2四半期連結累計期間の貸付金総残高（期中平均）は9,641億円と前年同期比7,268億円減少しました。これは、主に制度信用取引買い残高が低調に推移したことを受けて、貸借取引貸付金が減少したことによるものです。

当第2四半期連結累計期間の連結営業収益は、貸借取引貸付金利息および債券貸借取引における借入有価証券代り金利息が減収となったことから、23,282百万円（前年同期比12.5%減）となりました。一方、同営業費用は、主に子会社である日証金信託銀行保有のCDO（債務担保証券）等について、4,312百万円の有価証券評価損を計上したことなどから20,262百万円（同19.7%増）となりました。また、一般管理費は4,771百万円（同11.0%増）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結営業損失は1,751百万円、同経常損失は前年同期の持分法適用関連会社による固定資産売却に伴う投資利益（営業外収益）が剥落したことから1,453百万円となり、同四半期純損失は2,391百万円となりました。

次に各業務別の営業概況をご報告いたします。

貸借取引業務においては、制度信用取引買い残高が前年割れて推移したことを受けて、貸借取引貸付金が期中平均で4,232億円と前年同期比7,345億円減少したことにより貸付金利息は大幅な減収となりました。一方、貸借取引貸付有価証券も期中平均で4,425億円と同2,380億円減少しましたが、貸株が融資を上回る株不足銘柄が増加したことから有価証券貸付料は増収となりました。この結果、当業務の営業収益は9,813百万円（同25.0%減）となりました。

公社債貸付・一般貸付業務においては、証券会社との提携による個人向け貸付が伸びたものの、金融商品取引業者向けの一般信用ファイナンスの残高が減少したことなどから、公社債貸付・一般貸付の期中平均残高は608億円（うち一般信用ファイナンス分201億円）と同199億円減少し、当業務の営業収益は639百万円（同12.2%減）となりました。

有価証券貸付業務においては、債券営業部門においてSC取引（銘柄を特定した債券貸借取引）の借入需要が低調で借入有価証券代り金利息が減収となり、また一般貸株部門においても受渡遅延回避目的での借株需要が減少したことから、当業務の営業収益は2,417百万円（同35.0%減）となりました。

信託銀行業務においては、政府向け貸出が増加したため信託銀行貸付金の期中平均残高は4,723億円と同830億円の増加となり、当業務の営業収益は5,009百万円（同0.1%増）となりました。また、有価証券運用において前述のとおり評価損を計上いたしました。

その他の収益は、保有国債の利息収入が増加したことなどから、4,850百万円（同38.4%増）となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末（平成20年9月30日）の総資産については、借入有価証券代り金が増加したものの、有価証券、貸付金が減少したことから、4兆8,972億円と前連結会計年度末に比べ1,965億円減少しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期末における連結ベースの現金および現金同等物は4,559百万円（前年同期末比10,948百万円減）となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入等により、6,460百万円の流入超となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、無形固定資産の取得による支出等により、352百万円の流出超となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、自己株式の取得による支出等により、6,176百万円の流出超となりました。

[参考]

当社グループの貸付金状況（平均残高）

	前年同四半期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日		前連結会計年度（通期） 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
貸借取引貸付金	億円 11,578	% 68.5	億円 4,232	% 43.9	億円 9,172	% 61.2
公社債貸付金・一般貸付金 （うち一般信用ファイナンス）	808 (382)	4.8 (2.3)	608 (201)	6.3 (2.1)	769 (343)	5.1 (2.3)
買現先勘定	556	3.3	1	0.0	483	3.2
信託銀行貸付金	3,892	23.0	4,723	49.0	4,489	30.0
その他	75	0.4	75	0.8	75	0.5
合計	16,910	100.0	9,641	100.0	14,989	100.0
（参考） 貸借取引貸付有価証券	6,806	—	4,425	—	5,910	—

当社グループ業務別営業収益の状況

	前年同四半期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日		前連結会計年度（通期） 自平成19年4月1日 至平成20年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
貸借取引業務	百万円 13,081	% 49.2	百万円 9,813	% 42.2	百万円 23,156	% 45.8
貸借取引貸付金利息	6,652	25.0	2,491	10.7	10,581	20.9
有価証券貸付料	5,320	20.0	6,125	26.3	10,383	20.5
公社債貸付・一般貸付業務	728	2.7	639	2.7	1,428	2.8
有価証券貸付業務	3,721	14.0	2,417	10.4	6,297	12.5
株券	483	1.8	292	1.3	848	1.7
債券	3,237	12.2	2,124	9.1	5,448	10.8
信託銀行業務	5,003	18.8	5,009	21.5	10,844	21.4
貸付金利息	1,667	6.3	1,855	8.0	3,833	7.6
信託報酬	100	0.4	103	0.4	198	0.4
不動産賃貸業務	559	2.1	552	2.4	1,118	2.2
その他	3,504	13.2	4,850	20.8	7,736	15.3
合計	26,597	100.0	23,282	100.0	50,582	100.0

3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気の先行きにつきましては、世界的な金融市場の混乱による株価低迷や原材料価格の高騰を受けて、企業収益や個人消費が伸び悩む状況が続き、当面減速傾向が続くものと思われま

す。こうした状況下、制度信用取引買い残高および同売り残高は低調に推移しており、当社における貸借取引貸付金残高および同貸株残高は前期を下回るものと予想され、貸借取引貸付金利息および貸株料も前期比減少するものと見込んでおります。

また、連結子会社については、日本ビルディング株式会社は堅調な利益を予想しておりますが、日証金信託銀行株式会社は前期に購入したCDO（債務担保証券）が、世界的なマーケットの混乱から価格が急落しており、今後も追加的に有価証券評価損が発生するものと想定し大幅な赤字を見込んでおります。持分法適用関連会社である株式会社JBI Sホールディングスおよびその子会社については、全体として前期並みの利益水準を予想しております。

これらを前提に、通期連結業績につきましては、平成20年7月31日付当社「平成21年3月期第1四半期決算短信」にて発表いたしました平成21年3月期の連結業績予想を修正し、営業収益42,000百万円（前期比17.0%減）、営業損失5,100百万円、経常損失4,500百万円、当期純損失5,800百万円を予想しております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、平成20年10月30日に別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

併せまして、通期個別業績予想につきましても、第2四半期の業績を勘案し、前回公表の業績予想数値を修正しております。

また、株式市況・金利の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想値と大幅に異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これに伴う当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,559	4,628
コールローン	24,000	24,000
有価証券	1,471,517	1,980,835
短期貸付金	940,364	1,131,385
貸付有価証券	419,409	431,516
保管有価証券	—	8,750
寄託有価証券	223,651	256,731
繰延税金資産	435	300
借入有価証券代り金	1,341,077	900,506
その他	123,228	4,984
貸倒引当金	△1,308	△838
流動資産合計	4,546,934	4,742,801
固定資産		
有形固定資産	7,027	7,111
無形固定資産	2,135	2,545
投資その他の資産		
投資有価証券	339,338	335,042
繰延税金資産	230	4,818
その他	1,655	1,561
貸倒引当金	△75	△42
投資その他の資産合計	341,149	341,379
固定資産合計	350,312	351,036
資産合計	4,897,246	5,093,837
負債の部		
流動負債		
コールマネー	1,884,300	1,857,600
短期借入金	890,210	894,910
コマーシャル・ペーパー	—	68,000
売現先勘定	618,810	341,942
未払法人税等	923	1,371
賞与引当金	437	430
役員賞与引当金	—	32
貸付有価証券代り金	647,342	1,029,100
預り担保有価証券	446,412	508,587
借入有価証券	191,420	184,262
貸付有価証券見返	5,228	4,149
その他	45,967	37,101
流動負債合計	4,731,052	4,927,488
固定負債		
長期借入金	51,000	51,000
繰延税金負債	412	444
再評価に係る繰延税金負債	98	98
退職給付引当金	2,276	2,273
役員退職慰労引当金	261	482
その他	768	745
固定負債合計	54,818	55,045
負債合計	4,785,871	4,982,534

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	98,514	106,873
自己株式	△647	△440
株主資本合計	113,048	121,615
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,816	△10,455
土地再評価差額金	143	143
評価・換算差額等合計	△1,673	△10,311
純資産合計	111,375	111,303
負債純資産合計	4,897,246	5,093,837

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

営業収益	
貸付金利息	5,021
借入有価証券代り金利息	3,051
有価証券貸付料	6,560
その他	8,649
営業収益合計	23,282
営業費用	
支払利息	9,473
有価証券借入料	5,351
その他	5,437
営業費用合計	20,262
営業総利益	3,020
一般管理費	4,771
営業損失(△)	△1,751
営業外収益	
受取配当金	147
持分法による投資利益	103
その他	62
営業外収益合計	313
営業外費用	
自己株式取得費用	9
投資事業組合運用損	5
その他	0
営業外費用合計	16
経常損失(△)	△1,453
特別利益	
固定資産売却益	0
役員退職慰労引当金戻入額	26
特別利益合計	26
特別損失	
固定資産除却損	25
投資有価証券評価損	3
特別損失合計	29
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,455
法人税、住民税及び事業税	1,011
法人税等調整額	△75
法人税等合計	935
四半期純損失(△)	△2,391

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,455
減価償却費	764
固定資産除売却損益 (△は益)	25
有価証券関係損益 (△)	3,694
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	503
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△221
受取利息及び受取配当金	△14,927
支払利息	9,698
持分法による投資損益 (△は益)	△103
短期貸付金の純増 (△) 減	191,021
借入有価証券代り金の増減額 (△は増加)	△440,571
コールマネー等の純増減 (△)	26,700
短期借入金の純増減 (△)	△4,700
売現先勘定の純増減 (△)	276,868
コマーシャル・ペーパーの純増減 (△)	△68,000
貸付有価証券代り金の増減額 (△は減少)	△381,757
貸借取引担保金の純増減 (△)	△977
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△4,422,329
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	4,828,846
その他	△78
小計	2,976
利息及び配当金の受取額	14,827
利息の支払額	△9,975
法人税等の支払額	△1,471
法人税等の還付額	103
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△11
有形固定資産の取得による支出	△68
有形固定資産の売却による収入	15
無形固定資産の取得による支出	△188
その他	△99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△4,883
配当金の支払額	△1,291
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△69
現金及び現金同等物の期首残高	4,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,559

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

当社グループの事業区分は、証券金融業の単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

在外子会社がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

①自己株式の取得

当社は、平成20年3月24日、5月13日及び6月26日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式の取得を行いました。この結果、主にこの影響により自己株式が4,883百万円増加いたしました。

②自己株式の消却

当社は、平成20年9月16日開催の取締役会決議に基づき、平成20年9月24日に自己株式の消却を行いました。この結果、自己株式が4,676百万円減少し、利益剰余金も同額減少いたしました。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 営業収益		26,597 100.0
1 貸付金利息	9,245	
2 借入有価証券代り金利息	4,273	
3 有価証券貸付料	6,136	
4 その他	6,942	
II 営業費用		16,931 63.7
1 支払利息	10,295	
2 コマーシャル・ペーパー利息	330	
3 有価証券借入料	4,250	
4 その他	2,055	
営業総利益		9,666 36.3
III 一般管理費		4,300 16.1
営業利益		5,365 20.2
IV 営業外収益		947 3.5
1 受取利息	62	
2 受取配当金	164	
3 持分法による投資利益	658	
4 賃貸料	24	
5 その他	37	
V 営業外費用		6 0.0
1 支払利息	0	
2 その他	5	
経常利益		6,306 23.7
VI 特別利益		123 0.4
1 貸倒引当金戻入益	58	
2 投資有価証券売却益	64	
VII 特別損失		9 0.0
1 固定資産除却損	0	
2 投資有価証券売却損	1	
3 投資有価証券評価損	7	
税金等調整前中間純利益		6,420 24.1
法人税、住民税及び事業税	2,109	
法人税等調整額	227	2,337 8.8
中間純利益		4,083 15.3

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	6,420
減価償却費	787
固定資産除売却損	0
有価証券関係損	765
貸倒引当金の減少額	△58
賞与引当金の増減額 (減少: △)	5
役員賞与引当金の増減額 (減少: △)	△155
退職給付引当金の減少額	△83
役員退職慰労引当金の増減額 (減少: △)	△145
受取利息及び受取配当金	△19,006
支払利息	10,738
持分法による投資損益 (益: △)	△658
貸付金の減少額	510,999
コール・ローンの増減額 (増加: △)	76,200
借入有価証券代り金の増減額 (増加: △)	935,138
コール・マネーの増減額 (減少: △)	△418,400
借入金の増減額 (減少: △)	114,030
売現先勘定の増減額 (減少: △)	△65,600
コマーシャル・ペーパーの増減額 (減少: △)	△50,000
貸付有価証券代り金の減少額	△783,749
貸借取引担保金の減少額	△20,978
長期借入金の増減額 (減少: △)	△9,000
有価証券の取得による支出	△3,703,972
有価証券の売却・償還による収入	3,389,287
その他	40,996
小計	13,561
利息及び配当金の受取額	18,446
利息の支払額	△10,785
法人税等の支払額	△2,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,329
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△6,692
有価証券の売却・償還による収入	893
有形固定資産の取得による支出	△85
無形固定資産の取得による支出	△398
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,283
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△1,390
その他	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,394
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額	10,650
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,857
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	15,508

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

当社グループの事業区分は、証券金融業の単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

在外子会社がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

該当事項はありません。

「参考」

四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,485	3,435
コールローン	50,000	80,000
有価証券	995,818	1,475,909
短期貸付金	505,686	584,682
貸付有価証券	419,409	431,516
保管有価証券	—	8,750
寄託有価証券	223,651	256,731
繰延税金資産	417	282
借入有価証券代り金	1,347,502	860,554
その他	8,627	1,346
貸倒引当金	△481	△136
流動資産合計	3,552,117	3,703,074
固定資産		
有形固定資産	2,175	2,151
無形固定資産	2,021	2,531
投資その他の資産		
投資有価証券	246,956	237,866
関係会社株式	19,374	19,374
繰延税金資産	230	4,818
その他	814	801
貸倒引当金	△75	△42
投資その他の資産合計	267,299	262,817
固定資産合計	271,497	267,500
資産合計	3,823,614	3,970,574
負債の部		
流動負債		
コールマネー	1,301,500	1,248,000
短期借入金	573,620	527,610
コマースヤル・ペーパー	—	38,000
売現先勘定	508,204	341,942
未払法人税等	781	1,194
賞与引当金	367	360
役員賞与引当金	—	13
貸借取引担保金	23,139	24,117
貸付有価証券代り金	647,342	979,200
預り担保有価証券	446,412	508,587
借入有価証券	191,420	184,262
貸付有価証券見返	5,228	4,149
その他	11,567	1,360
流動負債合計	3,709,582	3,858,800

	当第2四半期 会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債		
長期借入金	6,500	6,500
再評価に係る繰延税金負債	98	98
退職給付引当金	2,193	2,169
役員退職慰労引当金	86	283
その他	23	-
固定負債合計	8,901	9,051
負債合計	3,718,484	3,867,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	89,044	93,047
自己株式	△501	△294
株主資本合計	103,724	107,934
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,261	△5,354
土地再評価差額金	143	143
評価・換算差額等合計	1,405	△5,211
純資産合計	105,130	102,722
負債純資産合計	3,823,614	3,970,574

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	増減(△)
営業収益			
貸付金利息	7,579	3,418	△4,160
借入有価証券代り金利息	3,745	3,008	△736
受取手数料	319	244	△75
有価証券貸付料	6,138	6,558	420
その他	3,347	4,755	1,407
営業収益合計	21,130	17,986	△3,144
営業費用			
支払利息	6,718	6,001	△716
支払手数料	538	537	△1
有価証券借入料	4,243	5,352	1,108
その他	1,374	325	△1,049
営業費用合計	12,875	12,215	△659
営業総利益	8,255	5,770	△2,485
一般管理費	3,573	3,916	343
営業利益	4,682	1,853	△2,828
営業外収益			
受取配当金	274	891	616
その他	49	44	△5
営業外収益合計	324	935	611
営業外費用			
自己株式取得費用	—	9	9
その他	0	0	△0
営業外費用合計	0	9	9
経常利益	5,006	2,779	△2,227
特別利益			
貸倒引当金戻入額	173	—	△173
特別利益合計	173	—	△173
特別損失			
固定資産除却損	0	1	0
投資有価証券評価損	7	3	△4
特別損失合計	8	5	△3
税引前四半期純利益	5,172	2,774	△2,397
法人税、住民税及び事業税	1,849	897	△952
法人税等調整額	179	△88	△267
法人税等合計	2,028	808	△1,219
四半期純利益	3,143	1,965	△1,177

※ 1株当たり四半期純利益 20年3月期第2四半期 31円64銭 21年3月期第2四半期 20円76銭

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。